

横須賀公共交通弱小ポータルサイトについて

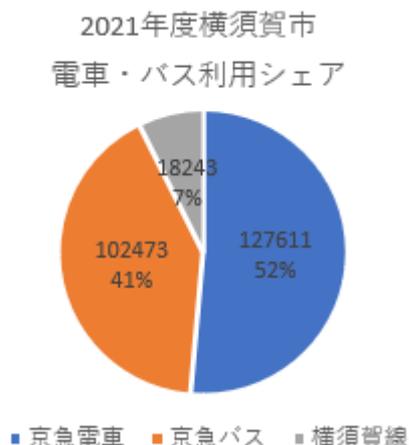
横浜に LRT を走らせる会、横浜の公共交通活性化をめざす会 柴田 智洋
URL : <https://brothertsite.wordpress.com/> mail:brothert354@hotmail.com

はじめに

2020 年に全世界を巻き込んだ新型コロナウイルス、日本でも「三密」が叫ばれ、テレワークなど新しいライフスタイルが普及する中、通勤・通学を中心とした人の移動そのものが激減し、地方を中心に「公共交通の危機」が叫ばれました。そしてこれは地方の中小私鉄だけでなく大都市圏の大手私鉄でも同様で、運営企業が大きな赤字を出すなど大きな影響が出ました。その中で地元である神奈川県横須賀市の京浜急行線（以下京急）電車・バスを中心とした公共交通を活性化させるための一助になればと思い、2020 年 6 月から横須賀公共交通弱小ポータルサイトと言う WEB サイトを開設し、運営を続けています。ここではどの様な考えでサイトを運営し、運営を行っていくうえで感じた事等について少し書きます。

1. 横須賀の公共交通と新型コロナ

図 1：横須賀市 2021 年度陸上乗合公共交通利用者数シェア（令和 4 年度版横須賀市統計表より 単位：人/日、%、※京急バスは 2021 年）



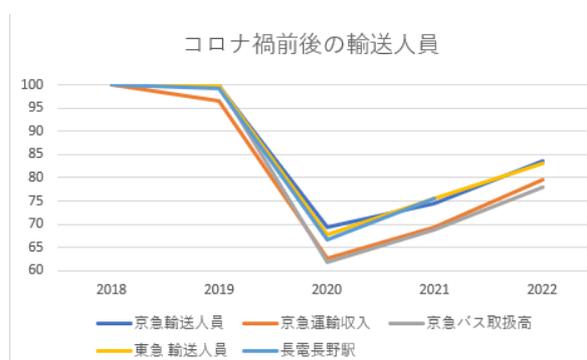
京急電車：17 駅、利用者数 127,611 人/日

京急バス：利用者数 102,473 人/日

JR 横須賀線：4 駅、利用者数 18,243 人/日

横須賀市の陸上乗合公共交通の利用者数を見ると上記の通りとなります。京急電車・バスが 90%以上を占め、市民にとって横須賀の公共交通はほぼ京急と言っても過言ではない状況になります。

図 2：コロナ禍前後の輸送人員推移（京急・東急は IR 公表資料より、長野電鉄は長野市統計書より）



そして 2020 年に訪れた新型コロナは横須賀市民の公共交通京急にも大きな影響を与えました。図 2 はコロナ禍の訪れた 2020 年前後の京急電車・バスの全線の利用者数の推移を新型コロナの影響の無い 2018 年（京急バスのみ 2019 年）の数値を 100 として指標化したものです。

これを見ると 2020 年度には 2018 年比電車では 30%、バスでは 40%と大幅に減少し、移動そのものが消失してしまいました。

そして 2022 年段階では回復傾向にあるもののコロナ前の 8 割前後の利用者数とコロナ禍の痛手を取り戻せない状況となっています。

2. コロナ禍の交通企業の施策

- ・緊急事態宣言に伴う終電時刻繰り上げ
- ・バス得の廃止
- ・京急久里浜以南での日中の減便
- ・1 日乗車券デジタル版販売開始
- ・京急バス京急ニュータウン野比海岸線廃止
- ・京急バス金額式 IC 定期券導入

・南海バス大阪・京都 - 小田原・藤沢・鎌倉線乗り入れ開始

- ・日中の快特列車の一部特急への置き換え
- ・運営企業の倒産によりコミバス「ハマちゃんバス」運航中止（別会社により半年後再開）
- ・金額式定期券モバイルPASMO対応
- ・JR運賃改定、オフピーク定期券導入
- ・京急バス運賃改定、小児IC運賃100円均一
- ・京急電車運賃改定、小児IC運賃75円均一
- ・JR東日本グリーン料金改定
- ・京急線乗車ポイント導入、回数券廃止

2020年以降の京急電車・バスを中心とした公共交通の主な施策は上記の様になります。バス路線の廃止、コミバス運航休止、電車の減便、バス得や回数券の廃止などお得なサービスの廃止や運賃改定など厳しいものがある反面、金額式IC定期券、デジタル1日乗車券、小児IC均一運賃、乗車ポイント等新しいサービスの導入も同時並行で行われている事が分かります。

3. 不安解消, 需要創造何を発信してきたか

これまで見てきた内容から課題となるのは以下になります。

- ・コロナ禍で公共交通利用の不安を解消する
 - ・消滅した移動を新しく生み出す
 - ・減便などのネガティブな施策をどう伝えるか
 - ・新サービスを利用者にどう活用してもらうか
- その為、以下の様な発信を行っています。

- A, コロナ禍での公共交通利用情報の提供
- B, 観光・イベント等移動のきっかけとなる情報
- C, 正確かつ地域に根付いたダイヤ変更情報
- D, 運賃改定、新しい運賃制度等の情報提供
- E, 既存のサービス・設備等その他

また告知には横須賀の人達に読んでもらいたいためFacebookの地域コミュニティを主に活用しました。

4. 面倒な新制度紹介～何が見られたか～

- 1, 金額式IC定期券って何だろう？ D
- 2, 横須賀市・横浜市公共交通各社の新型コロナ

ウイルスに関する対応について A

3, 電車とバスでGo! その3～星見市らしき場所アニメ「IDOLY PRIDE」の聖地に行く～ B

4, 電車とバスでGo! その2～2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」聖地に行く 大矢部編～ B

5, 一日乗車券をもって横須賀・三浦半島へGo!! D, E

6, 電車とバスでGo! その5～2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」聖地に行く三浦編～ B

7, 電車とバスでGo! その10～ぼっち・ぎ・ろっく!の聖地金沢八景を少し歩く～ B

8, 電車とバスでGo! その6～デジタルよこすか満喫きっぷで行くMEGURU PROJECT～ B, D

9, 2022年2月京急線、3月横須賀線ダイヤ改正について C

10, 横須賀の駅案内その1: 横須賀中央駅 E

そして公開している記事の閲覧数上位10記事は上になります。特徴としては

- ・移動の喚起を目的とするBが最も多い
- ・新しい運賃制度等を取り上げたDが次ぐ
- ・その他ではダイヤ改正の情報が安定して多いとなります。日常的な楽しいお出かけの為の情報、分かりづらい新しい運賃を中心とした制度の解説と言うのはあまり交通と言うジャンルで注目されませんが、注目されます。また日常の利用を考えるとダイヤ改正のような情報も重要と考えられます。

おわりに

今後は需要喚起の面では「3密」を避けるために郊外の多いコンテンツの聖地巡礼が中心だったのを例えば横須賀の名物と言えるJAZZや野球・サッカーなどのスポーツ、新しい制度では乗車ポイントを中心とした「お得に電車を利用する方法」の情報発信の強化、また上位10記事には入りませんでした。2月の大雪の際に作成し好評だった運行情報等、地域に寄り添い利用を喚起する「弱小ポータルサイト」として精進していこうと思います。